

様式第8号（和解手続規程第8条関係）（表面）

## あ っ せ ん 手 続 申 立 書

紛争当事者	申立人	氏名（名称） 住所（所在地）	労働花子 〒〇〇〇-〇〇〇〇 福島県〇〇市〇〇〇〇 電話〇24（〇〇〇）〇〇〇〇
	被申立人	氏名（名称） 住所（所在地）	A 株式会社 代表取締役 福島 一郎 〒〇〇〇-〇〇〇〇 福島県〇〇市〇〇〇〇 電話〇24（〇〇〇）〇〇〇〇
		※申立人が労働している事業場の名称及び所在地	A 株式会社 B支店 〒〇〇〇-〇〇〇〇 福島県〇〇市〇〇〇〇 電話〇24（〇〇〇）〇〇〇〇
紛争の概要		<p>〇年〇月〇日に入社し、看護師として勤務していたが〇年〇月〇日をもって自己都合退職した。退職に際し、退職金を受け取ったが、当該退職金の金額が、就業規則による計算額の〇割しかなかったため事務局長に理由を尋ねたところ、退職金規定の誠額規定を適用したとの回答があった。</p> <p>〇年〇月〇日に、事務局長に連絡をとり、就業規則に基づく正規の退職金計算額と支払済み額との差額の支払を求めたところ拒否された。</p> <p>訴訟は提起しておらず、また、他の救済機関も利用していない。会社には労働組合はない。</p>	
解決を求める事項（理由も含む）		<p>私としては、減額されるようなことは行っておらず、今回の退職金減額措置については到底納得できない。</p> <p>よって、就業規則に基づく正規の退職金計算額と支払済み額との差額の支払を求めたい。</p>	

令和〇年〇月〇日

申立人 氏名（名称）

労働 花子

⑩

申立人代理人

⑩

社労士会労働紛争解決センター福島センター長 殿

## 申立人が用意できる添付資料の例

労働契約書、就業規則、賃金規程、賃金支給明細書、退職金規程、解雇通告書、解雇理由書、離職票、配転辞令、降格辞令、同僚などの陳述書、傷病などの診断書、人事考課記録、会社から本人宛文書、本人のメモ書き、事実関係を時系列で箇条書きにしたもの、出勤簿、タイムカード、内定辞令、始末書、その他（ ）